



2013年6月4日  
チームひめまち喫茶

## 第6回ひめじまちづくり喫茶のご案内

都市を魅力的にしていくには、都市に関わるさまざまな分野の人たちが知恵を絞り、アイデアを結集していくことが大切です。そして具体的な策を練り上げ、発信・提案していくことになるのですが、提案だけではまちは動きません。アイデアレベルに終わらせることなく、発案者自らが「実践」することこそがまちを動かすきっかけになっていくのではないのでしょうか。

第6回「ひめじまちづくり喫茶」では、そのような考えからまちづくり研究会の一員として大阪でまちづくりの「社会実験」を継続的に実施している高見恒祐さんをお招きし、活動の経緯や活動内容、都市に対するご自身の想いなどを熱く語っていただきます。

- 日時 2013年6月19日(水) 19時～21時 (話題提供60分・コーヒーブレイク10分・ディスカッション50分)
- 場所 納屋工房(姫路市本町68 大手前第一ビル4階 TEL079-263-7878) <http://nayakobo.com/>
- ゲストスピーカーと演題

高見恒祐さん(都市大阪創生研究会メンバー (株)IAO プランニング&デザイン勤務)

1976年石川県生まれ。2001年大阪大学工学部環境工学科卒業。2002年(株)IAO竹田設計入社。2012年関連会社へ転籍し現在に至る。建築企画・都市計画コンサルティングを担当する傍ら、都市大阪創生研究会や大阪ええはがき研究会にも参加。研究会活動を通じ、大阪の水辺・臨海部の魅力に惹かれ、昨年より、大阪巷へ移り住む。

演題 『社会実験の実践による都市の魅力づくり ～What's 創生研～』

■参加無料

■参加要領 事前連絡不要。当日会場までおこしください。スペースの制約から先着30名とさせていただきます。

※第7回はゲストスピーカーに澤田充さん(株)ケイオス代表)を招いて、商業施設の力を活かした都市の魅力づくりについてディスカッションします。(7/29(月)19時～、納屋工房にて)

「カフェ」に代表される人々が語り合い、新しい文化を生み出す「場」として、日本には「喫茶店」がありました。姫路はかつては日本一喫茶店数が多い都市だったと言われており、まちづくり分野の新しい活動を創出する場になることを願って姫路まちづくり喫茶(ひめまち喫茶)とネーミングしました。

### \*「ひめじまちづくり喫茶(ひめまち喫茶)」の開催にあたって

都市を取り巻く環境は「ストック重視」「価値観の多様化」「都市間競争の時代」「市民参加の進展」など大きく変貌しています。そのような状況下、さまざまな都市で新しい方向性が模索されています。そこから浮かび上がってくる重要なポイントは、①固有の資源に着目した都市の魅力アップ、②自ら考え行動すること、③中身優先(枠組みはあとから)、④連携し共鳴すること、⑤そのための「場」づくり、と考えられます。

いま姫路では、駅前が生まれ変わりお城がきれいになるなどまちなかが新しくなりつつあります。このようにハードが新しくなる今、それに合わせてソフト(人の活動)にも新しい何かが必要と思われます。それは前述の状況から考えると、人レベルの出会い、刺激、交流から自律的に生まれてくるのではないのでしょうか。

「人の出会い→刺激→交流→自律的な新しい動き→姫路まちなかの魅力アップ」と言う仮説を立て、その第一歩として新しい人の出会いの場「ひめじまちづくり喫茶(ひめまち喫茶)」を開催します。定期開催のセミナー形式で、他都市で自律的なまちづくり活動を実践している人物をゲストスピーカーに招き、まちづくりに関する話題提供とディスカッションをおこなうというものです。姫路まちなかをフィールドに活動されている様々な活動グループの方々や活動を模索されている方々などに参加いただき、次の展開へのヒントや新しいネットワークを生み出す機会にしたいと思っています。

2013年2月5日 チームひめまち喫茶

\*主催 チームひめまち喫茶:小川陽平(小川農園)・篠原祥(大阪ガス)・長谷川香里(納屋工房)・平田千香子(播磨リビング新聞社)